

令和4年9月14日
愛媛大学

俳句・書文化研究センターシンポジウム 「旧制松山高等学校で学んだ俳人たち」を開催

愛媛大学俳句・書文化研究センターでは、このたびシンポジウム「旧制松山高等学校で学んだ俳人たち」を下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、著名な中村草田男、芝不器男をはじめ旧制松山高等学校を巣立った俳人たちにスポットライトを当てるとともに、愛媛、松山、そして母校が、彼らに与えた影響や果たした役割について語り合います。彼らが学んだ講堂（愛媛大学教育学部附属中学校「章光堂」）からオンラインで発信します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和4年10月9日（日） 13時30分～15時45分

開催形式：オンライン開催（Zoom）

主 催：愛媛大学社会連携推進機構俳句・書文化研究センター

後 援：松山市、松野町

参加費用：無料

参加申込方法：添付チラシのURLかQRコードからお申込みください。

申込期限：令和4年10月3日（月）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室

担当：魚部、石野

TEL：089-927-8512

Mail：chiki@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚（本紙を含む）

俳句・書文化研究センターシンポジウム

旧制松山高等学校 で学んだ俳人たち

日時 令和4年10月9日(日)13:30~

開催形式 オンライン開催

主催 愛媛大学社会連携推進機構 俳句・書文化研究センター

後援 松山市、松野町

なかむらくさたお
中村草田男

中国福建省生まれ。旧制松山高等学校卒業後、東京帝国大学休学中に俳句を始め、高浜虚子に師事した。
1983(昭和58)年没。

<肖像画提供/愛媛県立松山東高等学校>

しばふきお
芝不器男

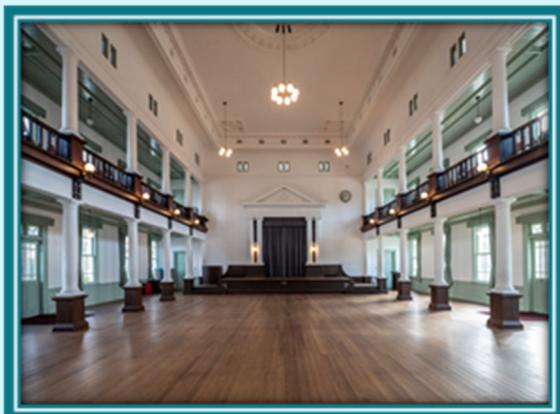
松野町生まれ。旧制松山高等学校卒業後、東京帝国大学に入学。帰郷し俳句を始め、高浜虚子に認められる。
1930(昭和5)年没。

<写真提供/松野町教育委員会>

**参加
無料**

— 内容・申込み方法は裏面をご覧ください。 —

申込締切日 10月3日(月)



章光堂



旧松山高等学校正門

開催趣旨

愛媛大学の前身である旧制松山高等学校は、1920年(大正9年)に四国初の高等教育機関として誕生しました。愛媛県内外から多くの俊英が集結し、多彩な人材を輩出しました。その中に、すばらしい俳人がいたことを忘れてはなりません。

今回は、著名な中村草田男、芝不器男をはじめ旧制松山高等学校を巣立った俳人たちにスポットライトを当てるとともに、愛媛、松山、そして母校が、彼らに与えた影響や果たした役割について語り合うシンポジウムです。彼らが学んだ講堂からオンラインで発信します。なお、今年築100年を迎えたこの講堂は、今も教育学部附属中学校講堂「章光堂」として愛媛の教育を支え続けています。

プログラム

【開会の挨拶】

俳句・書文化研究センター長

佐藤 栄作

【基調講演】

「旧制松山高等学校で学んだ俳人たち」

小西 昭夫 『子規新報』編集長

【報告 1】

「不器男の俳句とふるさと」

谷 清 葛句会会長

【報告 2】

「草田男と不器男」

青木 亮人
(教育学部/俳句・書文化研究センター)准教授

【パネルディスカッション】

パネリスト 小西 昭夫、谷 清、青木 亮人
司 会 青木 亮人

<申込み先>

<https://forms.office.com/r/P9b8Fkzz7G>



QRコード

<問い合わせ先>

愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室

E-mail : chiki@stu.ehime-u.ac.jp

T E L : 089-927-8512